



はじめまして、昨年から関目教室で個別クラスを担当している中村佳穂と申します。私は古市教室の珠算部、関目教室の中学部の計9年間カイチにお世話になっていました。関西大学第一高校を卒業し、現在は同志社大学で法律を学んでいます。今年からは大学のマンドリンサークルにも所属しており、今回はそのサークル活動とそれを通して感じたことを話したいと思います。

ところで、皆さんはマンドリンという楽器をご存じでしょうか。あまり馴染みのない楽器なのでどんなものかよく知らない方もいるかもしれませんが、マンドリンは弦楽器の一種でトレモロという奏法を用いるのが最大の特徴です。また、「マンドリンサークル」といってもマンドリンオーケストラですので、実際にはギターやコントラバスなど様々な楽器が



COLUMN: 先生紹介 ▶ 中村 佳穂 (関目教室)

先輩からのアドバイスが脱出の糸口に

使われており、ちなみに私はマンドラという楽器を担当しています。(この楽器はマンドリンとほぼ同じ形ですが、大きさや音色が少し異なります。)

実は、私は中高では吹奏楽部に所属しており、大学でも吹奏楽サークルに入ったのですが、コロナ禍で活動がなく何もせずに辞めてしまいました。しかし、今年からサークルの活動制限が緩和されたこともあり、やっぱり音楽を続けたいなという思いと吹奏楽とはまた違ったマンドリンオーケストラの雰囲気惹かれて今のサークルに入るに至りました。入る時は「初心者で、2回生からの入部って…」と躊躇もしたのですが、サークルを通して同年代の色んな人と話すことができ、おかげでとても充実した大学生活になっていきます。現在は、コロナ禍の制限規制を守りながら活動していますが、大学のサークル活動は中高の部活動のように毎日活動しているわけではなく、練習時間や先輩に教えてもらえる機会がとても少ないです。そのため自宅自主練をする必要があるのですが、その際にどうすれば上手くなるのか練習の仕方等について悩んだりします。皆さんならそんな時どうしますか。これはサークル活動を通して実感したことなのですが、先輩からのアドバイスという

のは実によく効きます。一人で練習して上手くいかないことがあっても先輩から少しアドバイスをもらうだけで本当にスツと何かコツをつかめたような気になるんです。

中学からの音楽経験上、上達するには自主練はなくてはならず、それ自体は自分でしなければならぬということは分かっていたのですが、一人では何をやるのが正解なのか、練習方法などにおいて自身の中で迷走してしまつた時に「先輩からのアドバイス」がそこから脱出するための糸口となるということを実感しました。これは、中高とは違って滅多に先輩に会えないからこそだと思います。先輩からのアドバイスがそうであるのは、勉学の面でも同じなのではないでしょうか。ですので、勉強をしているのに点数がつかない、何を優先すべきなのか分からないなど悩みがあるときには、一人で抱え込まずに私たち講師にぜひ相談してみてください。カイチには様々な経験をしてきた勉学の面での「先輩」がたくさんいるのできっと悩みを解決するヒントをもらえると思います。私自身も皆さんが立ち止まってしまわないよう、前進できるようサポートしていきたいと思っていますのでこれからもよろしくお願いします。



カリーナのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE Talking Kids Katrina Fujikawa

Luigi's Wedding Day ルイーダの結婚式

Getting married is a huge decision in every person's life. It is one of the big things that will impart a great change in a lot of aspects. Having someone to have by your side rather than none is a big blessing anyone in this world can receive. Having say so, we are so happy that one of our educators started to live a happy life by marrying the person God has given him.

In everything we do, a big part of it that sometimes stress us out is the planning stage. We all want everything to fall in its place so that we would not miss any single detail that will eventually fail us. Just like with marriage, from the preparation up to the big day itself, a lot of emotions and thoughts will come out. To add up, a big challenge a person can face about marriage is to do it not in your own country but in a place where you are not originally been born with.

This is what happened to one of our educators, Luigi Ilustre of REDWOOD kid. In 2014, through a Good News



Corps volunteer program of the International Youth Fellowship (IYF), he was able to set foot in Japan. The initial plan was to finish just one year volunteer work and go back to the Philippines to continue his life there. However, many opportunities were opened and right now, he is currently working here in Osaka. Who would have known that the one-year program will end up being a steppingstone for a bigger change in his life? It seems like the fate that he is walking to right now is already decided and that he is just passing through it. Every step of the way is flowing smoothly right in front of him.

One of this fate is to meet his adorable wife, Berry, which is also from the Philippines and a product of the volunteer program. After his one year of volunteer, that is the time their love for each other sprang and



grew stronger until the 16th of October, 2021 which is the day they agreed to tie the knot with each other. Now they are living a very happy and blissful life under the blessing of God.

From the Philippines to Japan, being a volunteer and now a working resident of Japan, from being single in status and now to being a husband, everything that he did, and experience is such an amazing journey that anyone who hears about it will be inspired and happy. More often, in this world that we live in, we tend to measure the success in life with the money, cars and other material things that we possess. However, the energy, passion, sincerity, positivity, and motivation that he has towards life and the way he values and treasure the people around him are already a tremendous proof that he is truly a successful and happy one right now.

We can't wait to see more of him achieve all the things that he is wishing for. Never had a doubt that this person is truly destined to be successful and be a part of the greater good in this life. Now, he is no longer alone, no more the word "I" but "we", and rather than doing things by himself alone, he already has the best partner anyone can have.



A true leader, a great man, and a compassionate educator - Luigi. A supportive person, a prudent wife, and a loving one - Berry. May you always be a blessing and inspiration to everyone. 10.16.2021

などの物質的なもので人生の成功を測る傾向があります。しかし、彼の人生に対するエネルギー、情熱、誠実さ、積極性、モチベーションそして周囲の人々を大切にす姿勢は、彼の成功と幸福を示す証となっています。

これからも彼の活躍を楽しみにしています。彼が成功し、素晴らしい人生を送ることに疑いの余地はありませんでした。そして今、彼はもはや一人"l"ではなく"We"となり、最高のパートナーと共に歩んでいます。

真のリーダーであり、偉大な人物であり、思いやりのあるルイーダ先生。ルイーダを支えてくれる人であり、思慮深い妻であり、愛情深いベリー。みんなに祝福とインスピレーションを与えてくれますように。2021年10月16日

カイチからのお知らせ

■今年のクリスマス会はコロナウイルス感染予防のため中止です。その代わりとして景品交換を12月16日(木)~12月23日(木)で実施します。
 ■12月22日(水)・23日(木)は小学・中学診断テストを実施します。■珠算・パスカルキッズ・トーキングキッズの冬休みは12月24日(金)~1月7日(金)です。
 ■12月24日(金)は休塾日です。■小学部・中学部の冬期講習会を12月25日(土)より実施いたします。詳しくは冬期講習の日程表をご確認ください。
 ■12月29日(水)~1月4日(火)まで冬期休業いたします。
 ■11月11日(火)より通常授業がスタートです。珠算・パスカルキッズ・トーキングキッズはこの日が新年度の授業始めとなります。

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラトWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章 (塾長)

慶応SFCの問題

下記は日本の最先端を走る慶応SFCの入試問題です。子供達に求められる学力が明らかに変化していることがよくわかります。

慶應義塾大学SFC環境情報学部は、残すに値する未来と一緒に創造できる人を求めています。私たちが生きるこの世の中では、たくさんの方が目まぐるしく変化しています。私たち一人ひとり、望む、望まないにかかわらず、目まぐるしく変化するこの世の中で、生きていくことになりま。この世の中には、不条理なことがたくさんありますが、それら臭いものに蓋をしても、隠し通すことはできません。近い未来、私たちが生きていくうちに、必ずそれらの不条理と向かい合う日がやってきます。

腰がひけたまま、他人事のように未来をただ待つのではなく、私たち一人ひとりが、どうすればそれらの不条理を解決し、残すに値する未来を創造できるのかを考え、できることから仕掛けていくことが大切です。

以上のことを理解した上で、次の問1~3に答えてください。

問1 割愛

問2 あなたがこの世の中で不条理だと感じていることを下記の課題ジャンルを全て網羅し15個挙げてください。また、なぜそれらが不条理だと感じるのか、個々の不条理の内容と理由をそれぞれ簡潔に1文で記述してください。

課題ジャンル:
 (a)人間の慣習に関すること
 (b)社会のしくみやルールに関すること
 (c)人間と環境の関係に関すること

問3 問2であなたが回答した不条理のうち3つを取り上げ、その解決の方向性と方法について、解決のカギとなる技術革新・アイデアを含め、できるだけ具体的、定量的、かつヴィジュアルに説明してください。

世界が山ほど抱えている社会問題を共に解決できる、そのような学生達を求めていることを問題自身が鮮明に表しています。

この問題を見るだけでも、私たちを取り巻く社会変化が急激で、抱える問題がいかに深刻か、そして、その社会に適応するために求められる力が大きく変化したことがわかります。これは、2020年の大学入試改革の際にもさんざん言われてきましたが、自分で問題を発見し、互いの多様性を認めながら他者と協働し、主体的に問題解決していく力です。

先日、幕を閉じたCOP26。2050年までに脱炭素、カーボンニュートラルの実現を目指すための会議ですが、温暖化問題は深刻です。各国が今の状態で様々な



▲脱炭素を軸に世界が急激に変化している。世界の今と近未来が書かれた本。

脱炭素の問題だけでも、エネルギーや自動車、牛の排出するメタンガス、ごみ処理など、私達の暮らしを根底から変えなければならない問題が山積しています。そして日本はそれらの問題に少子高齢化という状況で対応せねばなりません。

皆さんが大人になる頃には、私達の生活様式が大きく変わり、世界に出て、もしくは世界の人たちと共に働くのが当たり前、そうせざるを得ない社会になっている可能性があります。

そのことを冒頭の入試問題は示唆しています。カイチでも、このような時代の変化を考え5年前から外国人の社員の採用を始め、現在はカトリーナ、シルバ、ルイーダの3人の先生方がいらっやいます。今、カイチの英語分野の受講生

は中学の選択講座を入れると300名。英検合格者は年間170名以上にもなっています。当時は、本当に外国人の社員の先生が必要なのかと議論になりましたが、社会は確実に、そしてすごいスピードで変化しています。来年度から本格的に関目教室で学童教室をスタートします。これは、これからの社会に対応する子を育てるには、卓上の知識以上に生活に根差した習慣や経験を伴う実学が必要という思いからです。かいち学童では日々の習慣の中で長期的な視座に立った能力を育成し、子供達に社会との接点のあるプロジェクトに取り組んでもらうことで、「生きるために学ぶ」という本来の学ぶ意味を感じる場にしたいと考えております。

今年もあと数日で終わります。子供達を教えていると思いながら、日々教えられる。成長させると意気込みながら、成長させられる。私達にとってカイチは、必要な学びを投げかけてくれる問題集であり、様々なことを教えてくれる参考書でもあります。私は、その問題を先生達と生徒達、そして、保護者の方々と考え解いていく時間が何よりも大好きです。

まだまだ至らない私達ではありますが、今年も通塾していただきありがとうございます。来年は今年よりもっと素敵な塾になれるように、子供達、保護者の皆様のお役に立てるように精進努力する所存でございます。何卒、宜しく願いいたします。



▲10月28日の朝日新聞

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート



エニグマ教室紹介

受験だけでなく将来に繋がる思考力を

富田 昌史 (エニグマ)

エニグマは、「地頭もよく、せっかく私学の中学に入ったのに、勉強についていけない…」というカイチ生の悩みを原点として、2019年4月からスタートしました。現在37人の生徒が所属し、東大・京大をはじめとした、難関大受験専門の学習塾として頑張っています。1クラス最大6名の少人数授業の中で、生徒たちは楽しみながらも、きっちりと力を伸ばしていています。

▼静かな自習スペースには、毎日学校帰りの生徒が勉強をしにきます。



▲今年度、エニグマから京大に合格した山村先生も非常勤講師として教えに来ていただいています。

【難関大講座】



今年から、難関大数学を担当している田中先生。灘中・高で長年教鞭を執っていた。教材作成のエキスパートでもある。

エニグマでは、難関大受験のために一般的な中高一貫校の進度と同じく、中学1年から2年前半の間で中学範囲が終了し、その後、難関大数学・英語講座がスタートします。(途中から入塾された場合は、進度に応じてコースに編入し

ていきます)

この難関大講座で大切にしていることはただ一つ。それは、「思考力を深める」という事です。

難関大合格に向けては二つの事がポイントとなります。一つは、理系であれば理科2科目、文系であれば社会・国語を仕上げる時間を高2の後半に確保できるかです。そのためには、高2の段階で数学・英語の基礎内容を終わらせねばなりません。そしてもう一つは、数学・英語の応用力を身に付け、京大・阪大といった発展的な思考が問われる問題に対応できるかどうかという点です。理科や社会については、既習事項が増えた段階から仕上げにかかるため、高2の後半から時間をかけて間に合いますが、数学・英語の応用力を身につけるためには、積み重ねが必要となります。

応用力(発展問題に対応する力)と言われると、難しい問題を「数多く、ひたすら解いてパターンを身に付けねば」とイメージされるかもしれませんが、私たちはそうとは考えていません。応用力は、基礎の理解(易しい問題が解けるということではなく、根本にかかわる概念の理解)を深めることによってこそ高められると考えています。基礎の理解という抽象的ですが、誰もが感じたことがある、「なるほど!」という感覚が近いです。

【基礎の理解から概念の理解へのプロセス】

- ①ちょっとした気づきや発見によって、「なるほど!!」と思う
- ②その時に、その内容に対する理解が深まり、また印象にも残る
- ③そして、この「なるほど!」と思える瞬間の積み重ねこそが概念の理解へ
- ④概念の理解で、問題の意図に気づく=応用力

そして、このような「なるほど!」と思う「気づき」や「発見」は、解説を受けている時間の中では起こりません。思考力をつけるには、面白さの感じられる題材について自ら考えようとしなければ、なかなか身につけることはできないのです。そのため、「生徒に興味を持たせ、自ら考えたいと思えるような題材を提供する」ことが、最も大切な教える側の役割となります。そのため、一見何でもないように見えますが、授業中に解いてもらう問題の選び方、順序は、生徒の理解段階に応じて考え抜いたものとなっています。また、授業中の問いかけも、常に生徒の集中時間を見

ながらタイミングを見計らっています。

また、中高一貫校には、塾にも通いながら高2の初めまでは学校の成績もよかったのに、パタッと伸びが止まってしまい難関大合格が難しくなる生徒が多くなります。これはパターンの暗記だけに注力してきた生徒と、要領よく概念を掴んできた子の差となります。学校や塾で膨大な演習量を課されて反復試行だけを行うと、要領の良く理解ができる生徒だけが伸び、逆に普通の生徒は本来持っている思考の力が抑えられ、受験期の応用問題にまったく対応できなくなりがちです。この難関大講座で身につけた「思考力」は、そのようにならない下支えとなります。



◀理系の内容では、イメージに實際触れることも大切です。化学に出てくる形ですが、分かりますか?

このように様々な意図を散りばめた90分の授業は、考える時間が非常に多いのですが、いつも生徒は「今日も頭をよく使ったなあ」と疲れながらも、満足げな顔で帰って行ってくれています。そしてこのようにして身につけた「思考力」は難関大合格とともに、大学入学後に求められる「具体的なものを抽象化し、他の事象と結びつける」学び方に直結していきます。この「抽象化」する力は人間固有の能力と言われていますが、それこそが、今後AIが発展し、変化する時代に求められる「底力」になっていくと信じています。



▲難関大数学講座の様子
違う学校同士の生徒達ですが、密やかなライバル心を持っているそうです。元将棋部の顧問の田中先生の将棋雑談もあつたりします。

今後もエニグマでは生徒それぞれのポテンシャルを存分に引き出しながら、しっかりと生徒の学力向上と志望校合格をともに目指していきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

入試は目前!
受験生の12月の過ごし方

井上 陽平 (カイチ個別主任)

いよいよ12月に入り、2021年も終わろうとしています。受験生にとっては、いよいよ2・3ヶ月後に入試が迫っています。みなさんにとって、一生に一度の高校入試。少しでも悔いなく臨めるように、12月の受験生の過ごし方をご紹介します。

①着実に基礎固めと弱点克服を!

2学期の期末が終わり、ようやく秋のテストラッシュが落ち着きました。私達の次のターゲットは、なんとといっても2月の私立高校入試本番です。年末の冬期講習からは、塾の授業でも、皆さんの自習の時間も、赤本(入試過去問)を使った勉強が中心になるでしょう。過去問は、各教科の総合力を試される問題です。これらの対策に入る前に、いま一度基礎知識と弱点単元の確認をしておきましょう。秋の模試結果から、現段階での自分の苦手を再確認し、塾や学校の復習テキストを使って弱点克服に取り組んでみてください。さまざまな教材に目移りせず、各教科でこれと決めた問題集を使って、落ち着いて、着実に問題を解き進めることがポイントです。先生に質問し、アドバイスをもらいながら進めていきましょう。



②赤本を活用し、得点力アップ!

冬期講習に入ったら、赤本を使った過去問演習です。繰り返しになりますが、過去問は総合力が試される問題。つまり、過去問演習→やり直し→弱点対策のサイクルを確実に行えば、3年間の学習内容と、実際に正解へ辿り着く得点力を身につけることができます。過去問の演習は、試験時間通りにタイマーをセットし、集中できる環境で行いましょう。本番を意識して、現段階の自分のベストを発揮できるように努めま

す。解き終わったら、正確に採点をします。採点後のやり直しでは、わからない問題を先生に質問し、自分の中に納得を得られるようにします。そして、苦手として残っている単元や間違えた問題の類題を、復習テキスト等を使って確認してみましょう。これらのサイクルを何度も回すことで、メキメキと力が付いてきます。

③スケジュールを立てて、戦略的な学習を!

入試本番まであとわずか。残された時間を有効に使うために、今後のスケジュールを意識しながら勉強に取り組みましょう。受験生の皆さんも、今後のイメージをしながら読んでください。年末の冬期講習から赤本を使った私立対策に入りますが、年が明け、1月には、3学期学年末テストが待っています。特に公立高校を受験する生徒にとっては、内申点のためにも一定の力を注がないといけないテストです。1・2月で私立対策に使える時間を考えると、年内に3カ年分の過去問はきちんと解いておきたいですね。1月末に学年末テストが終わったら、2月10日からの私立入試に向けて一直線。そして、その後は3月9日の公立一般選抜入試(特別選抜は2月17日)に向けた対策となります。入試直前で慌てることのないように、準備をしておきたいですね。入試までのスケジュールを考えながら、1日の学習スケジュールもしっかりと立てて勉強に臨みましょう。特にこれからの休日の勉強は、テストの結果を大きく左右します。朝・昼・夜に、どのような学習を進めるか、予定を立てて取り組みましょう。



④しんどい時だからこそ、サポートしてもらおう!

入試本番。いざ試験が始まれば、あなたは一人で、目の前には入試問題。まわりの受験生はみんなライバル。孤独な戦いとなります。しかし、入試本番までの勉強は、決して一人で戦うわけ

ではありません。一人で解けない問題、どうしてもいかわからない学習スケジュール。これらは塾の先生に相談してください。私達講師は、困難を与える敵ではなく、一緒に困難を乗り越える仲間です。全力でサポートをします。遠慮なく頼ってください。そして、一緒に勉強する他の受験生との交流も大切です。同じ状況だからこそ共感しあえることがあります。もちろん、友達が集中している時にそれを妨げるのはいけません。しかし、お互いを励ましあって、高め合える仲間との交流も大切にすべきです。

最後に、みなさんの家族と話をする機会を意識的に取りましょう。受験生が苦しい時期だということは、みなさんのお父さん・お母さんは重々承知しています。みなさんとの関わりに少なからず気を遣っています。だからこそ、みなさんの方から、ちょっとした愚痴をこぼしてみてください。家族は、みなさんの最大のサポーターです。しんどい時は、いつでも家族に助けてもらえるよう、普段から積極的にコミュニケーションを取っててください。

いかがでしたでしょうか。受験もいよいよ最終局面。私は、受験を通して「計画を立て、努力することの大切さ」を少しでも学んでほしいと考えています。そしてその先に、志望校の合格発表を受けて、中には泣きながら喜んでいる、みなさんの笑顔があると信じています。残された最後の時間を、ともに悔いの残らないよう過ごしていきましょう!

